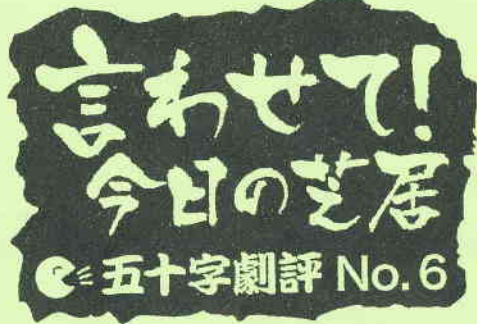


親の顔が見たい(劇団昂)



【二〇代】

これは大人社会への問いだ。自分本位に他人を蔑めば、自分を実感できるのか。私もか。さてどう生きようか。(男性)

【三〇代】

親の立場、子の立場。様々に想像しながら観ました。加害者の親を含めてそれぞれにエゴが見えてきて、単純な善悪では割り切れない豊かな芝居が観られました。(男性)

あの状況になったら、何が善で何が悪か分からなくなると思う。どう正していくかを考えさせられる。素晴らしい作品だった。(女性)

【四〇代】

現代の人間の姿がよく現れている。自分の罪と向き合おうとせず、糾弾する側にまわろうと駆け引きばかりの人間が多すぎる。これでは、いったいいつ自分と向き合えるのだろうか。我々の世代は、人間として本当に大切なことを知らないで生きてきてしまったのではないか。(男性)

【五〇代】

引き込まれるように観ました。今の学校の大変な現状とそこで試される親の姿勢が迫って来ました。(女性)

最近のいじめの実態の凄さにただただ驚く。普段は善良な市民が、我が子のことになるとがらりと豹変する様に考えさせられること多々あり。(男性)

キツイ。リアル。子供と親、現実の建前と保身。教師夫婦の「それでも生きていかなければ」に驚き、重い。(女性)

大変関心を持って観ましたし、公の立場の人間の本質が描き出されていて、私は好きな作品の一本です。(女性)

体裁を取り繕い、言い訳をしながら生きている自分を見ているようだった。弱さや汚さを突き付けられた。(女性)

久しぶりに客席と一体となった緊張感のある舞台を見られて感動。下手なカタルシスに終わらせないラストが秀逸。(男性)

【六〇代】
最後までハラハラし、時間を忘れました。親が私自身ではと思う場面があり考えさせられた。現実を見たようです。(女性)

親の責任は重い(家庭)だけに、いじめの問題の解決を求めるのは無理、親もいろいろな人生を歩んで親になった。一人ひとり違う。画一化することは困難。子どもは社会全体で育てるという考え方が重要ではないか。(男性)





学校のいじめによる自殺は、誰もが自分の身内の事として、失くすための力をそそいでほしい！絶対なくしたい。
(女性)

最後のおわりかたなつくつくかない。すべて水に流してしまおう感じ。
(女性)

一観客としては利己的な親と教師に怒りを覚えた。しかし、当事者だったら…。これは特別な話ではなく、現実はどこにでもありそうなのが悲しい。カーテンコールを求めるような長い拍手に共感し、感動の共有を実感した。
(男性)

目よりの舞台は現実であり、今も私の心を揺さぶっている。現職時代の親や生徒を案じ、祈る気持ちが続く。
(女性)

台詞が生きて生きして見応えのある芝居でした。どの登場人物にも共感できる。己の影を見る力を育てる方策は？
(女性)

子供たちのいじめで親の顔、家庭が見えてくる。厳しい教育現場の現実。重いお芝居だった。やさしさをなくした社会のありさまなのか？
(女性)

え、そうじゃないでしょと、思わず反論したくなりました。親ってみんなあーなのではないか？と言つて私があーの立場ならと考えると？はつきりと答えの出せないお芝居でした。
(女性)

いじめる子の親といじめられる子の親と。後者の親として切ない思いをしたことはあるが、前者でなかったかどうか…。
(男性)

【七〇代】
現在の持つ状況を凝縮して見せてくれました。私には無縁のスマホが利己主義と結びつくところなのですね。役者さんの熱演、脳裏に焼きついていきます。
(男性)

今の世の中、現実にある事の様(悲しいですが)身につまされました。どちら側でも大問題です。脚本がとても良く出来ていたと思います。キャストが実にピッタリで、あつと云う間の一時間四五分、親はどうあるべきか、教員である娘と、観劇後大いに語り合いました。
(女性)

小学校時代の息子の事が思い出され、胸が痛いです。
(女性)

キツイ題材なのになんだか清々しい。のめり込んで観てた。きつと子供達ともしっかり話すことを念じて。
(女性)

「ウチの子に限って」の親の心理が恥ずかしかつたです。大人の社会が生命を大切に、違う考え、生き方を尊重し合えるまで、子供社会のいじめもなくならないと思います。
(女性)

学校へ行くことで、学問のみならず人間としてどう成長していくのか、そのことを親・教師共に考えなければ…。
(女性)

編集スタッフから
今号で節目の6号。これまでの投稿の状況報告をしたり、これからの劇評について意見をお聞きしたいですね。

QRコードで簡単送信



劇評 QRコード